

令和7年度
岩手県生涯学習推進研究発表会

岩手県立博物館の取組

岩手県立博物館
館長 坂本美知治



財団法人岩手県文化振興事業団

岩手県立博物館

IWATE PREFECTURAL MUSEUM

- 1980年（昭和55年）
県政100年を記念して開館
- 岩手山を望める丘のミュージアム
- 収蔵資料は約38万点（令和7年4月現在）
- 常設展示（約2000点）

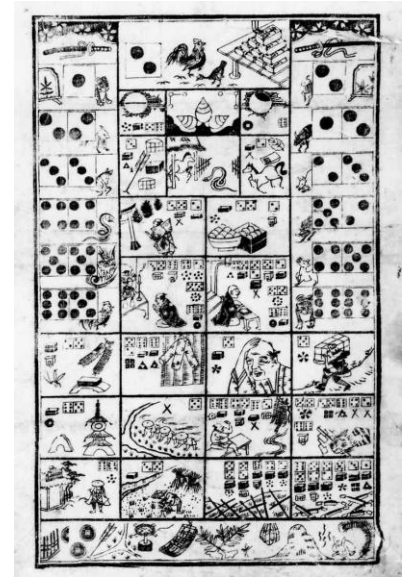


岩手県立博物館は「総合博物館」



岩手の歴史・文化・自然を幅広く知って頂ける展示

常設展 (約2,000点)





県博日曜講座



歴史講座



民俗講座



自然観察会



地質観察会



考古学セミナー



博物館実習



文化財取扱講習会



教員のための博物館の日



職場体験（中・高校生）



バックヤード・ツアー



ナイト・ミュージアム

- 博物館まつり・ミュージアムコンサート
- ワークショップ・体験教室
- 博物館学習利用の団体の受け入れ・出前授業
- 博物館資料の教材貸出
- 問い合わせ対応（年間約500件 来館・電話・メール）
- 外部講演会・講座等への職員派遣
- 県・市町村等の依頼による各種委員会への職員派遣
- 博物館職員による調査研究（岩手県立博物館研究報告）

博物館法の改正（博物館事業の見直し）

令和4年4月15日公布→令和5年4月1日施行

- 博物館資料に係る電磁的記録の作成と公開
「デジタル・アーカイブ化」とその公開を進め、
より多くの人に博物館資料にアクセスする機会を提供
- 地域社会と連携・地域の活力の向上に寄与
地方公共団体、学校、社会教育施設その他の関係機関
及び民間団体と相互に連携を図りながら協力し、当該
博物館が所在する地域における教育、学術及び文化の
振興、文化観光など地域の活力の向上に寄与すること
が努力義務化

Innovate MUSEUM事業（文化庁）

三陸希望遺産

デジタルアーカイブ構築事業

東日本大震災津波発災（平成23年3月11日）



被災直後の陸前高田市立博物館

- ・ 所蔵資料約56万点が流出、そのうち約46万点を救出
- ・ 安定化处理・修復した資料が約42万点（令和7年度末見込み）

東日本大震災津波以来の課題

- 災害からの文化財の保全
- 広域連携・文化財情報の共有と公開

博物館法の改正に伴う博物館の新たな事業

- 博物館資料のデジタル・アーカイブ化
- 博物館を核とした地域の活性化

デジタル技術の活用→課題解決・役割実現

三陸希望遺産デジタルアーカイブ構築プロジェクト

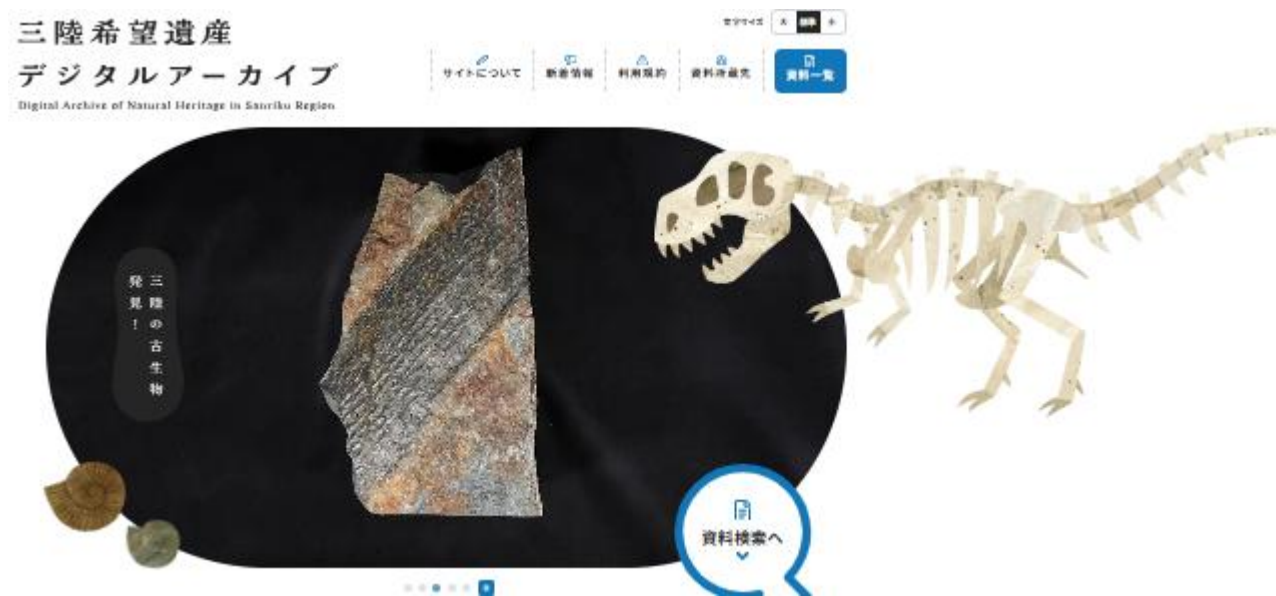
□岩手県立博物館を「中核館」とする6機関からなる
「プロジェクト実行委員会」を組織

※宮古市崎山貝塚縄文の森ミュージアム、陸前高田市立博物館、
大船渡市立博物館、久慈琥珀博物館、早稲田大学



デジタル・データ作成

6機関が分有する「三陸産古生物標本」
112件【178点】（令和6年度末）



デジタル・アーカイブ構築

デジタル・データを活用した地域活性化イベント

「松園ウオーク・ラリー」開催



【参加者の声】

- ・ はじめて松園を歩きましたが、自然豊かで、こんなところがあったんだと新しい発見になりました。今度またゆっくり公園やお店を回ってみたいです。
- ・ 子供達が本当に恐竜や化石が大好きで大興奮でした。こうしたイベントをぜひ続けてほしいです。

はくぶつかん ちょうせんじょう
博物館からの挑戦状

レプリカをみつけたら、パネルを読んで化石のナゾに挑戦！
ぜんぶのナゾがとけると、岩手と恐竜のひみつがわかるよ！

- ①のナゾ これはなんという生き物の化石？
- ②のナゾ これはなんという種類のサンゴ？
- ③のナゾ これはなんという生き物のなかまの化石？
- ④のナゾ これは恐竜の体のどこのホネ？
- ⑤のナゾ このアンモナイトが生きていたところをなんという？
- ⑥のナゾ この化石は岩手のどこでみつかった？
- ⑦のナゾ この化石がはじめてみつかったのはどこの国？
- ⑧のナゾ この化石がはじめてみつかったのはどこの県？
- ⑨のナゾ この生き物はどこにすんでいた？
- ⑩のナゾ ある生き物が世界からいなくなることをなんという？
- ⑪のナゾ このアンモナイトがにているものは？
- ⑫のナゾ 日本でいちばんアンモナイトの化石がとれるのはどこ？
- ⑬のナゾ この化石は岩手のどこでみつかった？

デジタル・アーカイブ技術の共有と教育普及活動



学芸員研修会



3Dデータを活用した授業（高校・特別支援学校）



- 日本博物館協会東北支部総会と連動した学芸員向け研修会の開催
- 本プロジェクトを共同実施する県内各館職員向け研修
- 本館学芸員と教員がデジタル・データを活用した授業を実施
※ 県立高等学校、特別支援学校 3校で実施

書店・図書館等とのコラボレーション（予定）



テーマ展

「化石のレプリカ展 We are NOT fakes!」

どこでも化石ミュージアム

令和8年9月26日（土）～

令和7年度の取組

- デジタル・アーカイブの充実と情報発信の強化
※ 県境を越えた連携、ジャパンサーチとの連携
- 大規模なハード面での投資を要しない、
博物館資料デジタル化の普及→小中規模館支援
- デジタル・データ活用を所産を
復旧・復興支援という形で社会還元
→ 林野火災で大きな被害の出た大船渡市を支援

今後の課題

- 事業終了後の予算確保及び円滑な自走化
- 構築したデジタル・アーカイブの広範な社会還元
※ 現状、活用は研究者など限定的
- 地域の活力の向上に向け、博物館に何ができるかの検証

岩手の川と釣り文化

River and Fishing Culture

盛岡に伝わる和竿「盛岡竿」と、川の流れを利用する「盛岡式流し毛鉤」を「川の流れを誘む文化」として紹介する展示です。2024年度から岩手大学と県立博物館が共同研究し、ウキの最適な流れの可視化や製作工程の記録、新出資料などの研究成果を示します。

トピック展

「岩手の川と釣り文化」

盛岡竿・盛岡式流し毛鉤の展示を中心に研究成果をご紹介します。

①日時：令和8年2月17日(火)～3月15日(日)

場所：岩手県立博物館 ミニプラザ (要入館料)

②日時：令和8年3月19日(木) 13:00から3月22日(日) 15:00まで

場所：もりおか町家物語館DOMA (入館無料)

(盛岡市鉾屋町10番8号)



シンポジウム

「盛岡竿と盛岡式流し毛鉤 ～岩手の川と釣り文化～」

公益財団法人水・地域イノベーション財団助成による研究成果発表

日時：令和8年3月8日(日) 13:30～15:00

場所：岩手県立博物館 地階 講堂 (聴講無料)

講師：田中隆充・小笠原敏記 (岩手大学理工学部教授) 近藤良子 (岩手県立博物館学芸員)

和竿制作の実演

日時：令和8年3月8日(日) 10:00～16:30

場所：岩手県立博物館 グランドホール (要入館料)

講師：三好幸喜氏 (和竿職人、石澤和竿毛鉤工房)

【問い合わせ先】

公益財団法人岩手県文化振興事業団 岩手県立博物館

住所：〒020-0102 盛岡市上田字松原敷34

電話：019-661-2831

担当：普及課・企画部門 主任専門学芸員 近藤 良子

メール：y-kondoh@iwapmus.jp

本事業は公益財団法人水・地域イノベーション財団助成の助成によるものです

「トピック展」等のご案内

「岩手の川と釣り文化」

岩手県立博物館ミニプラザ

令和8年2月17日(土)

～3月15日(日)

もりおか町家物語館DOME

令和8年3月19日(木)

～3月22日(日)



River And Fishing Culture

「テーマ展」のご案内

「石を愉しむ展覧会」

開催期間

令和8年1月10日（土）

～ **3月8日（日）**

県博日曜講座

令和8年2月8日（日）13：30

「収蔵地質標本の産地を巡ってⅡ」

石の世界 美しく奥深く

資料550点超、魅力的な石の数々

石を愉しむ展覧会

令和7年度 岩手県立博物館テーマ展

2026.1.10(土) ▶ 3.8(日)

主催：岩手県立博物館・公益財団法人岩手県文化振興事業団
会場：岩手県立博物館 オザワ工業ぎやらりー（特別展示室）

● 開催時間
9:30～16:30（入館は16:00まで）

● 休館日
1月13日(水)・19日(月)・26日(月)
2月2日(月)・9日(日)・16日(月)・24日(水)・3月2日(月)

● 入館料
一般350円（160円）・学生160円（80円）・高校生以下無料
・学校団体観覧で入館する児童生徒の引率等は申請により入館料免除となります。
・高齢者料、身体障害者料、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、20名以上の団体の方は無料です。
・親子鑑賞で応募（バスポート用紙）で、バスポートに記載のあるお子様とご一緒に来館された場合、入館料免除となります。



岩手県立博物館

IWATE PREFECTURAL MUSEUM

〒020-0102 岩手県盛岡市上野町東町3-1
TEL:019-661-2331 FAX:019-653-2274
http://www2.iwate-museum.jp/guide/



ご清聴ありがとうございました。